

9/15 金曜

県内でも「安保ストップ」

座り込んで抗議 福井駅東口



安全保障関連法案の審議が佳境を迎える中、福井市中央一丁目のJR福井駅東口前の広場で十四日、安保法制反対を訴える「ストップ！ 安保法制、福井県民集会実行委」のメンバーによる座り込み抗議が始まった。十八日まで、午後三時から午後六時にかけて行う。

(布施谷航)

実行委は「憲法改悪に反

い」などの団体で構成。学

対し九条を守る福井県共同

者や医師、文化人、弁護士

見表記したりする。

センター」「九条の会ふく

などに呼び掛け、ピラを配

十四日は約二十人が参

加。「戦争法案は破綻している。反対を呼び掛ける運動は全国的に広がっている」として、法案成立に反対する意見を表明した。

安政法制をめぐつては、

与野党が激しく対立してい

た。

安政法制をめぐつては、

開き、準備を進めてきた。

初のデモ。フェイスブック

クやツイッターなどで参加

を呼びかけ、予想を上回る

五十数人が集まつた。

西武福井店を自指す。「勝

手に決めるな安倍総理」

に出発し、約一・五キロ

メートルの距離を走った。

西尾述志)

安全保障関連法案の廃案に向け、福井の若者も立ち上がった。県内の二十三十代を中心八月下旬に発足したばかりの団体「ワツブ」が十三日、福井市内でデモ行進を実施。楽器のリズムに乗せて「民主主義つづて何だ？」、「安政法制今すぐ廃案」と訴えた。

「六月に東京で若者の憲法集会に参加し、福井でも若い人が声を上げる場をつくりたいと思った」。ワツブを中心メンバーパーの金元友さん(三)、永平寺町、団体職員はNPO代表や看護師、市議ら四人と学習会を開き、準備を進めてきた。

初のデモ。フェイスブックやツイッターなどで参加を呼びかけ、予想を上回る五十数人が集まつた。

業員近藤要さん(三)が法案阻止に向け「福井から若者の声で言おう」とマイクを握れば、福井市の理学療法士寺島千春さん(三)も「一

政権の判断で憲法をねじ曲げるのは、とんでもない」と続いた。

プラカードや横断幕を手に決めるな安倍総理」

「民主主義はこれだ！」など、自分たちで考えた文言を太鼓とタンバリンの音に乗せる。ペビーカーを押す母親の姿もあった。

「採決が近い。何かしない」とデモに初めて参加したのは坂井市の調理師坪内恵さん(三)。「法案が通れば戦争をする国になつてしまつ。集まつた人から反対の強い気持ちを感じた」と話した。

(西尾述志)

リズムに乗り進み乗り込み

るが、十七日から十八日にかけて成立する公算が大きい。法案が成立した場合、

だ。

座り込み集会は緊急抗議集